

編集後記 From Editor



京都・百万遍さんの
「手づくり市」にて

本を探すのももちろん、時間つぶしや待ち合わせの場所として、駅前や街中の書店を活用している人は多いだろう。半ば外にひらかれた空間として、書店はある意味で地域の文化施設的な役割も果たしている。

ところで、最近では小さな書店でも、品揃えに独自の視点を取り入れているところがある。例えば、店内の一部を、アートや旅といった何らかのテーマでまとめている、一般書店ではあまり見られない本や雑誌を取り揃えたり、時には古本や雑貨も置いてあったりする。また、リトルプレスといわれる少数の本や冊子ばかりを並べているところもあり、結構人気を呼んでいるそう。いわば本のセレクトショップであるが、どんな本を揃えるのかという棚づくりは、ある意味で創造的活動でもある。その店の担当者には何かの思いがなければ、一見それらしく整えることはできても、結局長続きしない。

こうした本屋さんでは、店によっては街中の古い建物の一室などを自分たちの手でデザインし直しているところもある。同様に、若者たちが集うカフェや雑貨店などでも、自分たちが大切に思うものを集めて空間を組み立てている例も、最近をよく目にする。

そうした固有性・個性の強い場所は、一見閉鎖的な空間に見えるがちだ。しかし、実は逆に外にひらかれていくことも多い。大阪でも、空堀界隈や中崎町などで、古い民家を再生した手づくりの場所が、地域の交流の拠点にもなっている。誰かの思いが積み上げられた場所が、独特の魅力をもつ場となり多くの人々の集いの場となっているのである。

状況は違うが、今回取材にうかがった京都百万遍の「手づくり市」からも少し似たような印象を受ける。月に一度のそのにぎわいは、若い人たちにとって、ある意味でインキュベーターの役割を果たしているようだ。「扱っているのは商品ではなく作品、出店ではなく出展」という主催者側のこだわりからも分かるが、出展者の中には、自分の作品が多くの人たちにどう受け止められるのか、それを試金石にして先に進もうとする人たちがいる。だから、活気の中に、少し緊張感のようなものも漂っている。人々の強い思いのある働きかけにより、普段は静かな寺院の境内が、全く異なった空間に変容しているのだともいえるだろう。

橋本佳也

表紙・裏表紙写真 京都・知恩寺境内で月に一度開催される「手づくり市」にて／東京都内各地で活躍するヘブンアーティスト／芦屋市の運河沿いに設けられた美しい花壇

〈お詫びと訂正〉
お知らせ

本誌83号の一部(初版)において内容に誤りがありました。下記のとおり訂正するとともに、筆者・関係者ならびに読者の皆様に深くお詫び申し上げます。
P46 下段の小見出し「カーシェアリング」1行目の文頭で「車は」の文字が重なっていました。 P54 写真キャプション 石臼(誤)→石の手水鉢(正)
P55 本文右より21行目からの表現(敷地オーナーが「風の荘」内に居住し、冷暖房なしで暮らしている)は事実と異なっていました。
P62 図2、図4に誤りがありました。また図内の文字が図外(左)にずれていました。

CEL 84号 特集 ■ パブリックスペースのたのしみ

発行●平成20年3月21日 頒価1,000円(送料別途)

■発行 大阪ガス(株) エネルギー・文化研究所(CEL)
〒541-0046 大阪市中央区平野町4-1-2

■発行人 多木秀雄 Hideo Taki

■編集人 橋本佳也 Yosbinari Hashimoto / 弘本由香里 Yukari Hiromoto

編集●関西ビジネスインフォメーション(株)内 CEL編集室
〒530-0005 大阪市北区中之島3-2-18

住友中之島ビル7F TEL.06-4803-2307

印刷・製本●日本写真印刷株式会社

RESEARCH INSTITUTE FOR CULTURE, ENERGY AND LIFE © 2008 OSAKA GAS CO.,LTD.

禁無断転載複写

※本誌掲載の寄稿文、インタビュー、レポートなどの内容は必ずしも小社の見解を表すものではありません。

本誌・バックナンバーのコンテンツや当研究所の活動内容はインターネットホームページ(<http://www.osakagas.co.jp/cel/>)でご覧いただけます。

本誌に関するお問い合わせ、ならびにご購読申し込みや送付先変更等のご連絡は CEL編集室 Tel.06-4803-2307 Fax.06-4803-2210 cel@kbicom.net まで